



Reflector App

リフレクタアプリを使用すると、LinkRunner AT 3000/4000 をパフォーマンステスト リフレクタに変えることができます。リフレクタアプリは、パフォーマンスアプリまたは LANBERT アプリを使用する他の NetAlly テストデバイスでも使用でき、汎用パケットリフレクタとしても使用できます。ユニットは他のデバイスから受信したパケットを取得し、送信元と宛先の MACアドレスと IPアドレスを反転してから、パケットをデバイスに送り返します。送信側のデバイスは、送信したパケット数とリフレクタから受信したパケット数を比較することができます。このアプリは、ネットワーク エンドポイントの導入前テストや、ネットワーク パフォーマンスが特定のアプリケーションをサポートできるかどうかを確認するのに役立ちます。

リフレクタ設定

基本的なリフレクタ設定を選択するには:

1. リフレクタのメイン画面から、ナビゲーションメニューアイコン  をタップするか、左側のドロワーからスワイプしてナビゲーションメニューを表示します。



2. **リフレクタ設定**をタップして設定オプションを表示します。

≡ リフレクタ設定

リフレクト

MACが一致した場合のNetAllyパケット

スワップ

MACとIPアドレス

- 必要に応じて、以下の各フィールドをタップしてリフレクタを設定します。変更した設定は自動的に適用されます。設定が完了したら、戻るボタン  をタップして、リフレクタのメイン画面に戻ります。

リフレクト

このフィールドをタップして、反映させるパケットを選択します：

リフレクト

- ☐ 全パケット
- ☐ ブロードキャスト以外の全パケット
- ☐ MACが一致する場合
- ☐ 全NetAllyパケット
- ☒ MACが一致した場合のNetAllyパケット

キャンセル

OK

- 一般に、NetAlly は、ネットワーク上の不要なトラフィックを回避するため、MAC が一致する場合、NetAlly パケットのデフォルト値を推奨します。
- パフォーマンスアプリを実行している NetAlly テストユニットでリフレクタを使用する場合に、MACが一致する場合はNetAllyパケットのリフレクタ デフォルト値を使用し、MACアドレスとIPアドレスのスワップ デフォルト値を使用するように設定します。
- LANBERT アプリが動作する NetAlly テストユニットでリフレクタを使用する場合は、

リフレクトの値をブロードキャストを除くすべてのパケットに設定し、スワップの値をMACアドレスに設定してください。

スワップ

このフィールドをタップしてスワップオプションを選択します：

スワップ

☐ なし

☐ MACアドレス

☒ MACとIPアドレス

キャンセル OK

- 一般に、NetAlly は、ネットワーク上の不要なトラフィックを回避するためにデフォルト値を推奨します。
- パフォーマンスアプリを実行している NetAlly テストユニットでリフレクタを使用する場合は、MACアドレスとIPアドレスの スワップ デフォルト値を使用し、MAC が一致する場合は NetAlly パケットのリフレクトデフォルト値を使用します。

- LANBERT アプリが動作している別の NetAlly テストユニットでリフレクタを使用する場合は、スワップ値をMACアドレスに設定し、リフレクト値をブロードキャストを除くすべてのパケットに設定してください。

リフレクタの実行

リフレクタ設定を調整して、必要に応じてリフレクトとスワップの設定を行った後、LinkRunner AT 3000/4000 をリフレクタとして実行できます。

1. リフレクタのメイン画面を開くには、LinkRunner AT 3000/4000 のホーム画面で **リフレクタアイコン** をタップします。
2. LinkRunner AT 3000/4000 が有線テストポート（上部の RJ-45 またはファイバポート）からアクティブなネットワークに接続されていることを確認します。
3. 自動テストの有線プロファイルを実行して、ポート上でリンクを正常に確立します。
4. **開始** をタップして、リフレクタテストを開始します。ステータスは、テストが実行中であることを示します。

NOTE: LinkRunner AT 3000/4000 の IP アドレスが画面の下部に表示されます。テストの発信元となるマスターデバイスを設定するには、このアドレスを記録します。



リフレクタ

開始



リフレクタ

ステータス: 停止しました

リフレクト: MACが一致した場合のNetAllyパケット

スワップ: MACとIPアドレス

統計

受信バイト	--
送信バイト	--
アドレス	
リンク	--
IP アドレス	--
MAC	NetAlly:00c017-5600c2

5. デバイスの指示に従ってパケットを送信するマスターデバイスを設定し、テストを開始します。
 - 実行中、リフレクタ画面には受信およびリフレクトされたバイトが表示されます。

- LinkRunner AT 3000/4000 は、テストが実行されている間は電源が入ったままです。
 - リフレクタアプリのメイン画面から移動すると、テストは停止します。両方のユニットがまだ実行されている限り、テストを再開できます。
6. 十分な情報が集まったら、「**停止**」をタップしてリフレクタアプリを停止します。画面には受信したバイト数と送信したバイト数が表示されます。



リフレクタ

開始



リフレクタ

ステータス: 停止しました

リフレクト: MACが一致した場合のNetAllyパケット

スワップ: MACとIPアドレス

統計

受信バイト	7,520,729
送信バイト	7,363,297

アドレス

リンク	1G/FDx
IP アドレス	192.168.22.59/24
MAC	NetAlly:00c017-5600c2

結果の表示については、マスターデバイスのユーザードキュメントを参照してください。